

# 九重町アクションプランについて

九重町教育委員会

## 1. 九重町学力向上アクションプラン

### ① ○平成25年度全国学力・学習状況調査結果

教科	小6・国語		小6・算数		中3・国語		中3・数学	
区分	A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用	A知識	B活用
町正答率	56.8	45.4	79.6	53.7				
国正答率	62.7	49.4	77.2	58.4				

### ○平成25年度大分県学力定着状況調査結果

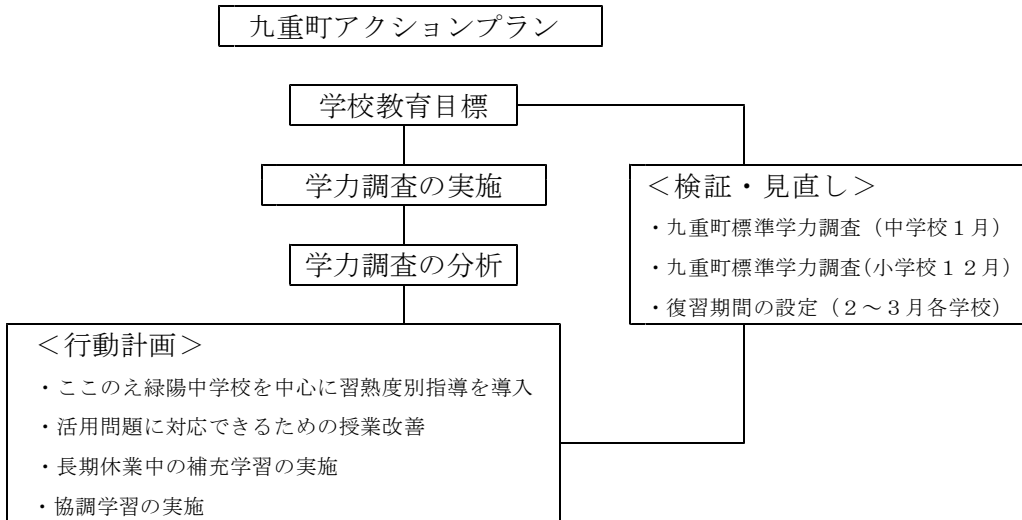
教科	小5・国語		小5・算数		中2・国語		中2・数学	
区分	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用	基礎	応用
偏差値	52.5	50.7	50.1	49.4				
県偏差値	51.5	50.3	52.1	51.8				

### ② 目標

- ・全国学力・学習調査の全ての教科で全国平均を超える。
- ・大分県基礎・基本の定着状況調査の全ての教科で偏差値50以上を目指す。
- ・協調学習の実施

### ③ 行程（推進スケジュール）

- ・九重町アクションプランの公表
- ・学校教育目標の公表



### ④ 達成指標

- ・平成27年度までに全国学力学習状況調査の全ての教科で全国平均を超える。
- ・平成27年度までに大分県学力定着状況調査の全ての教科で偏差値50以上を目指す。

## 2. 九重町体力向上アクションプラン

### ① 体力調査の結果

- ・小中学校全学年が持久力の分野で全国平均に達していない。
- ・小中学校の女子を中心としてスポーツの愛好度の割合が5割を下回っている。

### ② 目標

- ・小学校・・・体力・運動能力調査で、全種目の60%以上で全国平均を超える。
- ・中学校・・・体力・運動能力調査で、全種目の50%以上で全国平均を超える。
- ・小・中学校・・・20mシャトルランで全学年男女の50%以上で全国平均を超える。
- ・小・中学校・・・女子の「運動好き」の割合を50%以上にする。

\*調査項目<8種目×(小6学年+中3学年)×(男・女)>全144種目

・握力	・上体起こし	・長座体前屈	・反復横跳び
・50m走	・立ち幅跳び	・ボール投げ	・20mシャトルラン

### ③ 行動計画

- ・体力向上に向けて1校1実践
- ・スポーツ鬼ごっこ大会の実施
- ・学期ごとに、スポーツ愛好度調査の実施

### ④ 行程（推進スケジュール）

- ・九重町主催の体育主任会議の実施
- ・このえ緑陽中学校で体育授業の公開
- ・栄養教諭と連携した食育授業の実施

### ⑤ 達成指標

- ・平成27年度までに体力・運動能力調査の全国結果を上回る種目の割合を小学校60%、中学校50%にする。
- ・20mシャトルランで全国結果を上回る学年の割合を小学校10/12、中学校4/6にする。  
\* <小6学年×(男・女) = 12> <中3学年×(男・女) = 6>
- ・小中学校女子児童生徒の「運動が好き」の割合を小学校55%、中学校50%にする。

### 3. 九重町学校組織力向上計画

#### ① 学校評価

- ・4月の校長会で、学校評価について九重町として統一した方針の周知徹底を図る。(共通事項・全方位的評価項目)
- ・「達成指標・取組指標」が焦点化されていない学校に分かりやすい取組に変更するよう指導する。
- ・町の全学校が4点セットをホームページで公表できるように指導を継続する。

#### ② 学校管理規則改正

- ・主任の任命に係る教育委員会の承認制の導入、運営委員会の制度化  
(H25年2月26日改正、同年4月1日施行済み)
- ・学校管理規則に沿って組織的な運用がなさ得ているか、継続して点検・指導の徹底を図る。

#### ③ 学校運営体制の充実

- ・運営委員会の機能状況や職員会議の在り方について、学校訪問で確認し指導する。
- ・教育委員会の背作及び学校運営に積極的に関わられるような研修会を実施する。

#### 4. 「芯の通った学校組織」構築のための先進的・先導的取組

##### ① 組織的な取組の内容

###### ○主幹教諭の任務について

主幹教諭は、校長及び教頭を助け、命を受けて校務の一部を整理し、並びに児童生徒の教育をつかさどる。(学校教育法37条9項)

九重町としては、このえ緑陽中学校に配置し、特に、小中連携において活用したい。

##### ② 行動計画 <具体的な活用方法>

○「オール九重で子どもたちを育てよう」「町内1校となった中学校を誇れる学校にしよう」を合い言葉として小中連携のキーマンとして活用する。

- (1) PTAに関すること
- (2) 小中連携
- (3) 調査・報告書の作成
- (4) 他の教諭への指導助言

(小中連携に関する取組)

<中1ギャップの解消>

- ・小中互見授業の実施
- ・情報交換会の実施

<習熟度別指導>

- ・習熟度別授業の効果的な活用について小学校と連携した取組を実施するための指導・助言を行う。

<体力向上>

- ・小学校と連携した体力向上については、このえ緑陽中学校で年1回公開授業を実施する。

<外国語活動>

- ・英語科教員を中心とした小中連携

##### ③ 行程 (スケジュール)

(平成26年度)

- ・PDCAサイクルに基づく学校運営体制の見直し
- ・小中連携の見直し

(平成27年度)

- ・運営委員会による組織的な学校運営の確立
- ・9年間を見通した小中連携の確立

##### ④ 成果指標

(平成26年度)

- ・主幹教諭の機能的な働き
- ・効果的な小中連携

(平成27年度)

- ・主幹教諭が十分に働きスムーズに学校が運営
- ・9年間を見通した小中連携がスムーズに機能